

令和5年度 地方公共団体における
効果的な熱中症予防対策の推進に係
るモデル事業について

独居高齢者の屋内における熱中症対策

取組の概要

【取組の背景】

搬送される高齢者の半数以上が住宅内での発症であり、早急な対策が求められる。

【取組の内容】

地区民生委員にご協力いただき、市内在住の75歳以上の独居高齢者の方々に温湿度計とアンケート票を配付



高齢者自身に温度と湿度を測っていただき、簡単な質問とともにアンケート票に記入（7月～8月のうち7日間）



温度と湿度を測る習慣づけと熱中症対策の意識づけを目指す

【取組の結果】

温湿度計及びアンケート票の配布数	2,961部
アンケート票回収数	2,256部
	(回収率約76%)

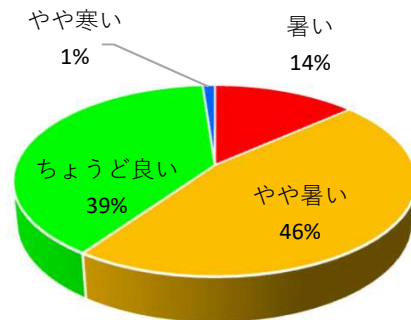


(民生委員訪問の様子)

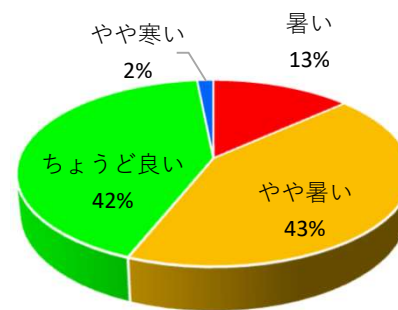
独居高齢者の屋内における熱中症対策

アンケートの結果①

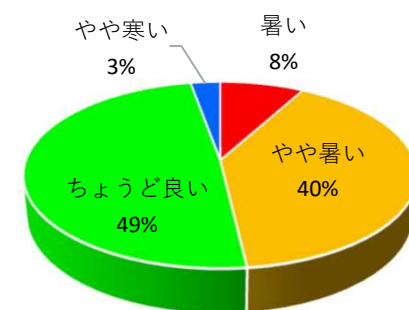
暑さ指数「警戒」(中等度以上の生活活動で熱中症起こる危険性あり)における体感



(70代：3403人)

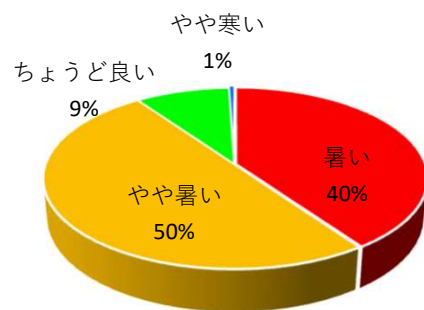


(80代：2771人)

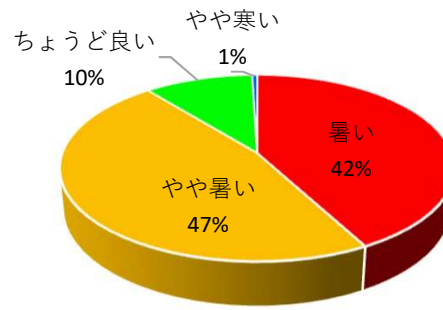


(90代：673人)

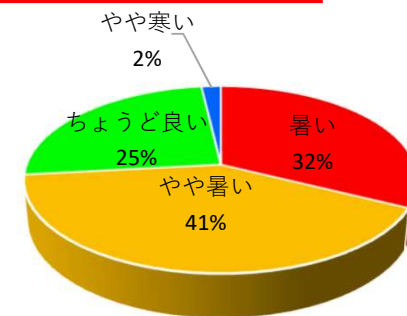
暑さ指数「嚴重警戒」(全ての生活活動で熱中症が起こる危険性)における体感



(70代：952人)



(80代：800人)



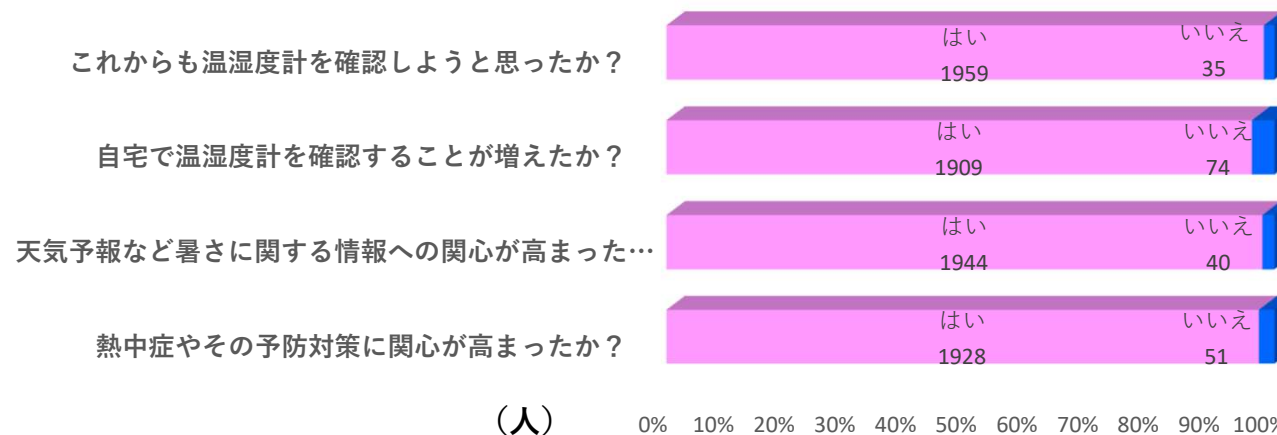
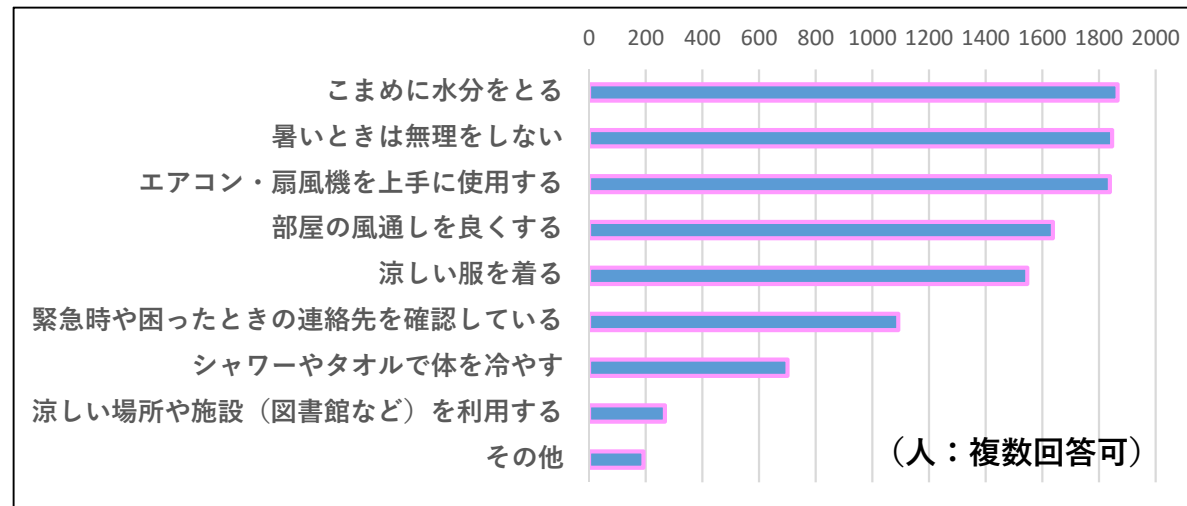
(90代：161人)

独居高齢者の屋内における熱中症対策

アンケートの結果②

(アンケート終了後)

熱中症対策として、どんなことをしていましたか？



独居高齢者の屋内における熱中症対策

訪問された民生委員からの意見①

対象高齢者の反応

温湿度計が見やすく、便利

- 温湿度計の文字が大きく見やすい。
- 温度、湿度に応じて顔の表情が変わるタイプであることから、危険を認知しやすい。

体感より室温が高く驚いた

- 自分の感じる温度と部屋の温度に差があって、びっくりしたことがあった。
- 室温が32度となっていた時の体感温度が30度もない方がおられた。

温度・湿度を気にするようになった

- 温湿度計を確認することが増え、エアコン利用や水分補給につながった。
- アンケート後も測るのが楽しみになり、毎日測っている方もある。

意識向上が見られた

- 毎日の温度・湿度、体調等を確認することで、熱中症に対する意識が高まった。
- 温湿度計を見ることで、自己管理がより一層持てるようになったと大変喜んでおられた。

アンケートの内容や難易度について

- アンケートの書き方を説明し取り組んでもらったが、やってみると難しくできなかった人がいた。逆に「こんな簡単なことでいいの？」と言われた方もあった。
- エアコンの設置状況や使用状況等についても項目があれば良かったのでは。

独居高齢者の屋内における熱中症対策

訪問された民生委員からの意見②

生活の様子

普段から熱中症対策を取られている

- アンケートに協力していただいた方については熱中症対策についての知識が十分であり実践されている。
- 外出時に体への負荷がかかりすぎるので、エアコンの設定温度を下げすぎないようにしていると話される方もあった。

エアコンの利活用について

- 冷房は体調が悪くなるから極力使用しない人や、一人だからもったいないとエアコンを使用しない人がいた。
- エアコンはあっても、電気代を気にして使わない人もいた。
- エアコンの使用を午後からと我慢しておられる方やエアコンを設置していない方もあり心配である。

取組について

猛暑日の中の訪問について

- 今夏は例年になく猛暑で、アンケートの依頼と回収は体力的なストレスが大変であった。
- 自身が高齢者である民生委員にとって対象者を訪問するのは負担が大きい取組であると感じた。

今回取組の対象外となった人について

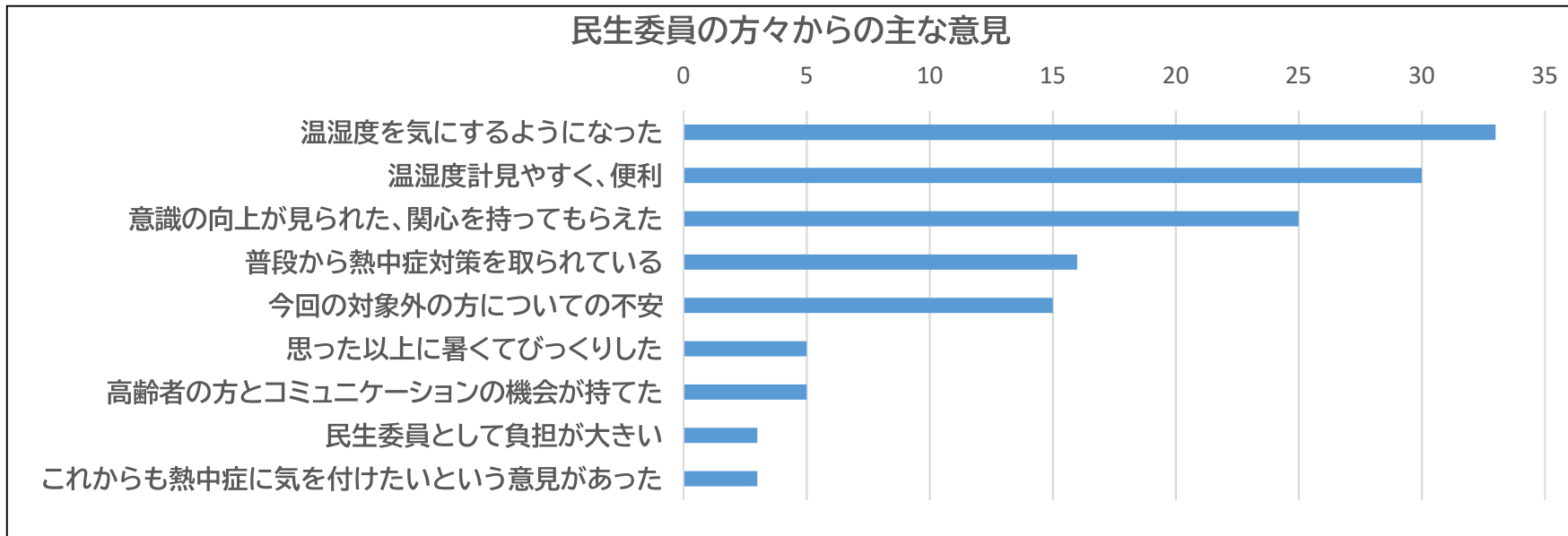
- 今回の対象者に含まれていない方で、エアコンを設置していない方がおり、熱中症が気になる。
- 独居の方だけでなく、高齢者二人のみの家庭の危険も大きいと感じている。
- アンケートに協力してもらえない人の方が問題ではないだろうか。

コミュニケーションの機会が増えた

- コミュニケーションを取る1つのツールにもなり、話題が増えて良かった。
- 今後アンケート調査に協力した高齢者の方々との民生活動が円滑になっていく印象を受けた。

独居高齢者の屋内における熱中症対策

取組のまとめ



- 「温湿度計が見やすく非常に好評であった」「毎日アンケートの記入をされることにより、温度・湿度を気にかけられるようになった」といった、温湿度計を活用した高齢者の熱中症対策に対する肯定的な意見を多くいただいた。
- 一方で、今回アンケートの対象とならなかった方を心配する声^{が寄せられ、中には「アンケートを拒否された方が後日熱中症により搬送された」という事案もあった。}
- 「アンケートが面倒」「年を取って字が書けない」「目が悪い」といった方にも、民生委員さんの代筆や、何度も説得をしていただいたことで、多くの高齢者の熱中症予防に繋がったと考えられる。
- 今後も、地域のつながりを大切にしながら、高齢者自身が熱中症の危険性を認識し、積極的な予防対策を心がけるよう促していきたい。

クールシェルター取組の強化

令和5年度の鳥取市のクールシェルターの取組内容

協力施設を再募集し、クールシェルターの充実拡大による関係事業者との連携した取り組みの推進

- ・実施期間：6月～9月
- ・協力施設（観光施設、商業施設、公共施設等の131か所）
- ・新ステッカーを作成し、協力施設へ配付

クールシェルターの認知度向上、利用促進

- ・ウェブサイトや市報、CATV番組、コミュニティラジオ等によるPR強化
- ・報道資料提供（新聞社2社掲載、地元ケーブル放送局1社放送）

主なクールシェルター施設と分類

分類	公共施設	商業施設	観光施設
施設特徴	公民館、図書館など	スーパー、ショッピングモール、百貨店	観光施設、道の駅など
立地	中山間地域を含む市域全般	中心市街地 各商業拠点地域	鳥取砂丘、幹線道路沿線
目的	・地域住民（高齢者等） 平日日中利用 ・地域での声掛け	・市民一般利用 ・官民連携の取組として 機運醸成	・県外来訪者利用 ・地域事情に詳しくない者 への注意喚起

クールシェルター取組の強化

クールシェルター協力施設の紹介①

各施設への配布物

「クールシェルター協力施設ステッカー」

- ・シール形式
- ・協力施設からのコメントを記載
- ・SDGs関係ゴールを記載

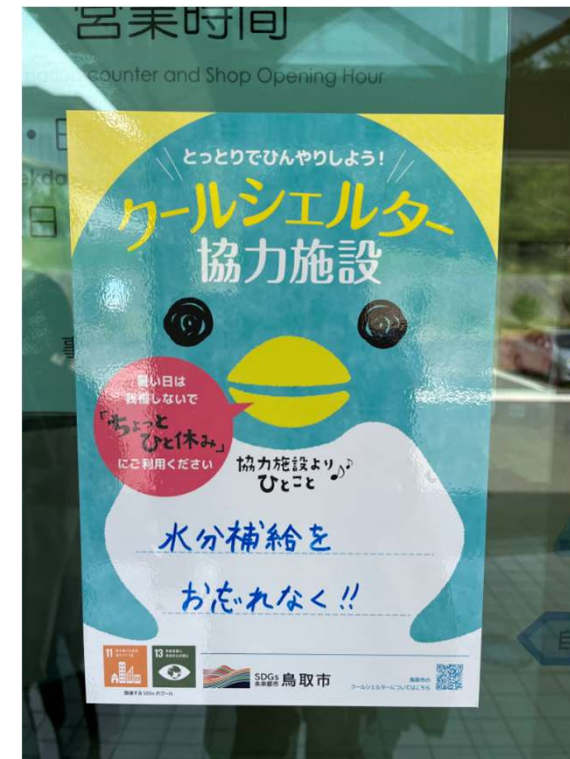


鳥取砂丘 砂の美術館

鳥取砂丘に立地する砂像展示の観光施設



- ・保冷剤、経口補水液、塩タブレット等を随時配付
- ・休憩スペース（救護所を兼ねる）を設けている
- ・ドリンクの自動販売機あり



クールシェルター取組の強化

クールシェルター協力施設の紹介②

まちパル鳥取 鳥取市ふるさと物産館

駅前、中心市街地に立地する
観光情報発信拠点・土産物販売施設



- ・店舗の一部に休憩スペースを設けている
- ・ドリンクの自動販売機あり

鳥取県立図書館

「フリースペース」はじめました！
冷水器も置いてます。
ご来館をお待ちしています。



ステッカーのサイズを拡大して
掲示していただきました。

クールシェルター取組の強化

クールシェルター協力施設の紹介③



丸由百貨店（デパート）

暑いと感じたら丸由百貨店でひと涼みしてください。

道の駅 「西いなば気楽里」



つめたーい
ジュース、アイスコーヒーあります。
お気軽にお立ち寄り下さい。



砂丘ビジターセンター

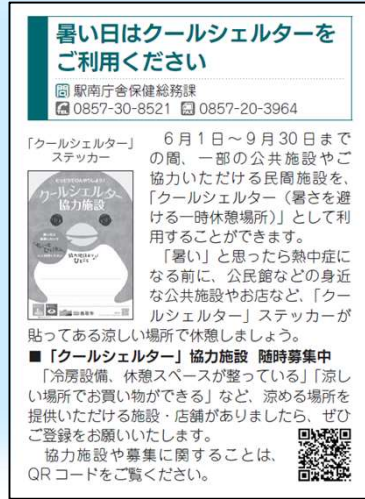
〔鳥取砂丘に関する展示や観光案内などの情報発信・自然体験等を兼ね備えた施設〕

無理をせず、砂丘散策をお楽しみください。

クールシェルター取組の強化

クールシェルターのPRについて①

【チラシや市報による紹介】



【テレビや新聞による紹介】



取材撮影時の様子



ウェブサイトによる「クールシェルターマップ」(鳥取市地図情報サービス)

クールシェルター取組の強化

クールシェルターのPRについて②

【ラジオ番組による紹介】



【まちなか情報誌による紹介】

主にまちなかのクールシェルターを紹介。巻末には、クールシェルターマップを掲載



【テレビの文字放送による紹介】

暑い日はクールシェルターをご利用ください

暑い日は我慢しないで「クールシェルター」ステッカーが貼ってある涼しい施設やお店も利用して休憩しましょう

期間 **6月1日(木)~9月30日(土)**

「クールシェルター」協力施設 随時募集中

- ◆冷房設備、休憩スペースが整っている
- ◆涼しい場所でお買い物ができる など

詳しくはコチラ▶

【問い合わせ先】 駅南庁舎保健総務課 TEL0857-30-8521

まちなかの取り組みをご紹介します！
とっとりまちづくり

遊休不動産を活用しませんか？鳥取市まちなか空き家改修支援事業！

中心街地の空家の利活用の促進と居住人口の増加を図るため、戸建て空き家を改修利用に誘導する賃借や店舗等に用途変更する際の費用の一部を補助します。

補助率：1/2 補助上限額：50万円

補助対象外は以下の要件は鳥取市HPをご覧ください！

TEL:0857-30-8331 FAX:0857-20-3953 E-mail:machinakamirai@city.tottori.jp

「暑い」と思ったら「クールシェルター」をご利用ください!!

クールシェルターとは？
「エアコンが壊れている」「暑くて休憩ができる、など、無申請を前提とした休憩場所のことで、クールシェルター施設には、必要に応じてクーラーが取り付けられています。暑い日は我慢しないで、「ちょっとひと休み」にご利用ください！

熱中症予防ポイント

- ①こまめに水分・塩分を補給しよう
水分を摂取し、大量の汗をかいたときは塩分も補給しよう。
- ②涼しく過ごす工夫をしよう
扇風機や、エアコンの適切な利用、風通しをよくする工夫をしよう。
- ③暑い時こそ体調管理
体調不良は熱中症のもと、バランスのよい食事から心をとらえ、暑熱を心がけよう。
- ④天気や気温を確認しよう
暑い日、風の強い日、湿度の高い日は特に熱中症に気を付けてください。

クールシェルター協力施設募集中! (6/9時点市内約125施設)

「冷房設備、休憩スペースが整っている」「涼しい場所でお買い物ができる、など、涼める環境を備わった店舗、施設がまだまだたくさんあります。お問い合わせください。

まちなかの協力施設(鳥取市MAPをご覧ください)

大倉商店、シャベネ製菓、鳥取PCセンター、まなびの鳥取、イオン鳥取、MADショップ鳥取本店、からべん、鳥取県立図書館、鳥取県立公民館、とりびん文化会館、鳥取県立博物館、川原町市場、鳥取市役所本庁舎、駅前郵便局など

お問い合わせ先：鳥取市保健所 保健総務課 鳥取市東二丁目138-4
TEL:0857-30-8521 FAX:0857-20-3964 E-mail:hokensoumu@city.tottori.jp

熱中症予防対策動画の制作

動画の内容

熱中症の予防対策を
イラスト動画で
分かりやすく紹介

地元の風景を
動画に取り入れる



保健所の
保健師が解説



(動画撮影時の様子)

場面による対策
の違いを紹介



年齢による熱中症
発生の違いを紹介



熱中症予防対策動画の制作

動画の活用について

【庁内各部署における活用】

- 市公式SNSへ動画URLを掲載
- 集団検診や公民館の学習会前、人権集会の開始前待ち時間にテレビでリピート再生
- 安全管理研修会や園内研修、職員研修でDVD視聴（保育園関係部署）
- 「フレイル予防教室」や「介護予防教室」で視聴（写真参照）

【その他】

- YouTube掲載
- テレビCMで放映
- ショッピングモールのデジタルサイネージで啓発



モデル事業取組の総括

クールシェルター取組の強化

協力施設の要件を厳密に定めていないため、各施設により独自の工夫をしていただくことができた。一方で、施設の規模や利用者の違いによる課題や、認知度向上・PR強化の必要性が明らかとなった。今後も引き続きクールシェルター利用促進のための積極的な取組を行い、熱中症予防へ繋げていく。

独居高齢者の屋内における熱中症対策

本取組を通して、多くの高齢者の方に温度と湿度の計測により「熱中症に対する意識」を持ってもらうことができた。また、高齢者の熱中症に関する実態を明らかにすることができた。この度のアンケート結果を活用して、引き続き民生委員をはじめ、地域で活動する関係者と連携を図りながら地域の高齢者の方へ向けた熱中症の注意喚起を地域の様々な集まりの場で行い、予防対策を浸透させていく。

熱中症予防対策動画の制作

テレビCMやまちなかのデジタルサイネージによる市民の方への呼びかけをはじめ、健康教室や市役所窓口での待ち時間のリピート再生など、幅広い年齢層の方に熱中症の予防対策を呼びかけることができた。今後も引き続き積極的な動画の活用を呼びかけていく。